

リニア駅周辺整備第1回ワークショップの状況

1 開催概要

日 時：平成30年2月21日(水) 18:30～20:30

会 場：飯田市役所 3F 会議室

- 内 容：① 進め方などのガイダンス
 ② 意見交換(4グループごと)
 ③ グループ代表者による発表
 ④ 全体での意見交換、結果のまとめ

参加者：37名

テーマ：「リニア駅周辺整備のコンセプト」や「整備にあたっての大切にしたいこと」

2 意見交換の主な意見

【風景・景観】

- 地域のシンボルになるように
- リニア軌道が景観に及ぼす影響に配慮
- この地域の特徴、原風景を活かす など

【新たなつながりや愛着を生む場所】

- 伊那谷全域に誘い出すきっかけを提供
- この駅でしかできない特別な体験を提供
- リニア駅が外から飯田・伊那谷を訪れる目的の一つになるように など

【変化に対応・柔軟な利用】

- 環境、ITなどの技術の進歩への対応
- 将来のライフスタイルへの対応 など

【来訪者・地域住民の居場所】

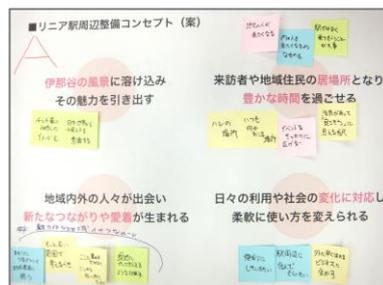
- 誰もが利用しやすい空間
- 日常的に地元の人が気軽に来られる場所
- リニアに乗る目的以外でも訪れたい場所
- 来訪者に足を止めてもらえる場所
- にぎわいのある(いつも人がいる)場所
- 若い世代が集まる場所
- 冬の寒さ、夏の暑さへの対応 など

【その他】

- 車を運転できない人(中高生など)が来やすい交通手段の確保
- 乗り換えの利便性の確保
- リニア駅周辺に暮らす人たちへの配慮 など



■意見交換の様子



■意見が貼り出された模造紙



■代表者による発表の様子

3 まとめ

【伊那谷の風景】

- ・ 南アルプスの風景の見せ方（展望）
- ・ 見た目だけではなく「音やにおい」
- ・ 生態系

【居場所となり豊かな時間が過ごせる】

- ・ 市民の居場所（特に若い世代）
- ・ 地域の人が集う(使う)場所
- ・ 高架下を明るい場所にしなければならない
- ・ 暖かみのある空間にしなければならない
- ・ 気候：寒い時期の使い方、強風への対応

【新たなつながりや愛着】

- ・ 市民の居場所駅から周辺の魅力的な場所への誘導（魅力の発信）

4 今後の予定

- ・ H30年12月までに5回程度の開催を予定。いずれも平日の夜間。
- ・ 参加者の募集は、その都度開催回ごとに行う。（途中参加もOK）
- ・ 次回は5月頃を予定
- ・ 状況については「たより」の形でweb公開